

第54回 無縫会議事録

概要

- ・ 第54回無縫会例会は、2022年6月29日（水）13時30分から「やまゆり 会議室」において対面形式で開催された。
- ・ 田中紅乃さん、岩田陶泉さんの両名は、都合により欠席されたが、陶泉さんから3句の投句があった。

例会は、梅雨明け後であったこと、温度の上昇する午後であったことにより猛暑の中で開催された。

投句数は、陶泉さんの句を含め、21句であった。

創立から5年を迎え、投句された句はどれも選句に苦勞するものばかりであった。

例会の終了後、現在編集中の句誌についての打合せが行われ、句誌編集担当の井口南柳さんから何点かの報告があり、また審議後に何点かの決定事項があった。

その中で主だった事項は次の通り。

- ①（予算）当初は1万円の見通しであったが、現在は5千円で収まる見通しである。
- ②（冊数）この予算での発行総冊数は、70冊である。9冊/人となる見通しである。
- ③（発行時期）原稿が予定通り集まれば7月に発行できる予定である。
- ④（発行記念祝い）新型コロナの再拡大が気になるところだが、発行後に記念のお祝いをしたい。

今回の例会での特選句は以下の通り。

第54回 無縫会例会 特選句

「ジュピリーの英女王や風薫る」	南柳
「絵日傘をいくつ数えて古都の道」	陶泉
「夕焼けや雲の宮殿炎上す」	藍良

例会の俳句談義等

- ① 「夕焼け…」は、雄大な句であり、真っ赤な雲の表現が素晴らしい
- ② 「絵日傘…」は、古都のならではの句で、「絵日傘」との組み合わせが見事
- ③ 「ジュビリー…」は、季語が最適

その他は割愛します。

俳句の豆知識

「何げない風景も、よ〜く観察すれば」……いろいろな思いや言葉が浮かびます。

- ・ (空) * 今日の空の色は? * 雲の形は?、*日光は?
- ・ (水面) * 水面の様子は? *映っているものは何? *水鳥の名は何?
- ・ (草花・生物) *…
- ・ (樹木) *…

俳人 吉田悦花さんより

特記事項

無し

次回の予定

「第55回 無縫会開催予定」

開催日 : 2022年7月26日(火) 10時~12時
場所 : やまゆり 1F サロン
季語 : 「夏」
投句数 : 3句
投句方法 : 短冊に記載の上、持参 了